

平成12年度ひろしま街づくりデザイン賞

Urban Design Award Hiroshima 2000

広島市都市計画局都市デザイン室

■ 専門学校広島アートファッションアカデミー（建築物・工作物部門）



●所在地 / 中区上八丁堀7 - 15 ●施主 / 学校法人文化学園 ●設計者 / 沖本初建築設計事務所 ●施工者 / 五洋建設 ●概要 / 専修学校、鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上6階、塔屋、建築面積262.72、延床面積1,399.15 ●完成時期 / 平成10年9月 ●選考理由 / すっきりとまとめられた建物のデザインと屋外階段のリズミカルな動きにより、街並みに軽快さを与えている。通りから学生の活動風景をかいま見ることができ、情報発信を含め学校という施設の地域の中でのあり方が提案されている。

■ CUBE HOUSE (建築物・工作物部門)



●所在地 / 西区大芝二丁目 10 - 24 ●施主 / 永松一代 ●設計者 / 遠藤建築スタジオ 遠藤吉生 ●施工者 / 正田建設 ●概要 / 集合住宅、鉄筋コンクリート造、地上 2 階、建築面積 89.75 、 延床面積 165.36 ●完成時期 / 平成 12 年 2 月 ●選考理由 / 建物のディテールの繊細さや表情のある屋外階段、樹木の配置、枕木敷きの前庭など、洗練されたデザインでまとめられている。限られた敷地を感じさせないゆったりとした空間が創出されており、街並みへの配慮が感じられる。

■ ブリーズコート中野（建築物・工作物部門）



●所在地 / 安佐南区祇園三丁目17 - 14 ●施主 / 中野ハル子、中野カナエ ●企画 / エーケーアイオフィス 中野彰則 ●プロデュース / オオサコプランニング 大迫あつ子 ●設計者 / 宮森洋一郎建築設計室 宮森洋一郎 ●施工者 / 松本建設 ●概要 / 集合住宅、鉄筋コンクリート造、地上3階、建築面積282.01、延床面積739.50 ●完成時期 / 平成12年3月 ●選考理由 / 単純な箱型になりがちな集合住宅を、豊かな表現力により、変化のあるデザインでまとめている。巧みな配置やすりガラスの使用などによって、開放性と閉鎖性の両方を実現しており、住人同士の関係、地域と住人の関係など集合住宅の可能性を広げている。

■ 平和大通り電気ビル（緑化部門）



●所在地／中區小網町6 - 12 ●施主／中国企業、中電工 ●設計者／中電技術コンサルタント ●施工者／鹿島建設 広島支店、中国企業 緑化部 ●概要／平和大通り電気ビルの公開空地、植栽面積200、植栽樹種モミジバフウ、バラ、ソメイヨシノ等 ●完成時期／平成8年2月 ●選考理由／総合設計制度による公開空地を利用して、緑豊かな平和大通りに、通り抜けできる快適な緑化空間を提供している。ツタによる壁面緑化やバラのアーチなど、一年をとおして季節を感じることができる心地よい散歩道として、地域の人々やビルの利用者などに親しまれている。

■ 広島 MID ビル（街並み部門）



●所在地 / 中区紙屋町一丁目1 - 17 ●施主 / 松下興産 ●設計者 / 出江建築事務所 ●施工者 / 松下ファシリティマネジメント ●概要 / 広島 MID ビルの公開空地 ●完成時期 / 平成12年6月 ●選考理由 / 総合設計制度による公開空地を利用し、遊び心のあるアートと緑と水をうまく配置した都心にふさわしいモダンな空間となっている。開放性のある街中のポケット空間の先駆的存在として人々の溜まり場のひとつとなることを期待する。

■ グリーンムーバー（サイン・アート部門）



● 走行区間 / 広島電鉄 宮島線 ● 施主 / 広島電鉄 ● 設計・製造 / シーメンス 、アルナ工機 ● デザイン / デザイン総研広島 ● 概要 / 普通鉄道旅客車、5 車体 3 台車超低床車両、長さ 30.52 |、幅 2.45 |、高さ 3.645 | ● 完成時期 / 平成 11 年 6 月 ● 選考理由 / 緑色の落ち着いた色合いのシックなデザインの車両が街を走るにより、広島の新しい風景を創り出している。これらの路面電車は、もっとも市民になじみのある公共交通機関のひとつであり、今後も動くアートとして広く街並みへの清涼剤の役割を果たしてくれることを期待する。

■ 可部カラスの会（まちづくり活動部門）



●活動地域／安佐北区可部地区 ●活動団体名／まちづくり市民グループ「可部カラスの会」 ●代表者／代表 友廣大造 ●活動内容／可部のまちが大好きで、可部のまちをもっともっとすばらしいものにしていきたいと各種の活動を行っている。環境部門：根の谷川クリーンキャンペーン、チェックウォーキング&芋煮会。文化部門：なつかしい可部の写真展・映写会、「残してほしい可部」写真展、可部のまち案内、郷土資料館開設運動、小中学校歴史・郷土学習出前塾。まちづくり部門：トイレは小さな美術館、可部のマンホールプラン、寺山公園10年間ワークショップ。 ●活動開始時期／平成8年 ●選考理由／様々な角度から次々にまちづくりの企画が出され、子どもからお年寄りまで楽しんで参加できる活動が行われている。地域住民の手によってまちが再発見され、さらにその魅力が高められている。

■ 千田わっしょい祭（まちづくり活動部門）



●活動地域／東千田公園(中区東千田町一丁目) ●活動団体名／千田わっしょい祭実行委員会 ●代表者／事務局長 山根進 ●活動内容／広島大学移転に伴い、意気消沈してしまった千田の町に「活気を取り戻そう!」と広島大学の夜間の学生が中心となって立ち上がった。「千田祭」という大学祭から、「千田わっしょい祭」という市民の祭へと継続拡大し、毎月一回開催している。緑陰コンサートや県内一の規模のフリーマーケットなど、毎回2万人以上の人が集まる。 ●活動開始時期／平成5年11月 ●選考理由／フリーマーケットやコンサートなど誰でも参加しやすいイベントとして、定着してきており、若者を中心に世代を超えた人々の交流の場となっている。多くの人が集い楽しむ様子は、空洞化しつつある都心の風景ににぎわいをもたらしている。

ひろしま街づくりデザイン賞について



広島市長
秋葉忠利

「ひろしま街づくりデザイン賞」は、市民が選ぶ景観賞として平成6年度に創設されました。魅力的な都市景観の創造に貢献している建物等やまちづくり活動などを市民の皆様から広く募集し、表彰することにより、広島のマチの魅力を高めていこうとするものです。

今年も市民の皆様から多数の御応募をいただきました。どの物件や活動からも街並みへの配慮やまちづくりへの熱意などを感じることができ、たいへん嬉しく思っております。

本市では、市民主体のまちづくりを進めるため、市民の皆様の声を生かしたまちづくり施策を展開しており、デザイン賞についても市民の皆様の視点を賞の選考に反映させるため、今回から選考委員会の市民代表を公募により選任いたしました。

今後とも「ひろしま街づくりデザイン賞」が市民の皆様に一層親しまれ、景観やまちづくりに対する関心がより高まることを期待しております。

選考総評



選考委員長
水田一征

7回目を迎えた今年の「ひろしま街づくりデザイン賞」は、市民の皆さんから109件の応募をいただきました。まちづくり活動を除く各部門においては、大型物件の応募が減少する一方で、小規模ながらも質の高いもの、新しい考えや工夫の凝らされたものが増えてきたように感じております。

選考は、学識経験者や市民代表等で構成する13名の選考委員により行いました。写真選考、現地視察を経て、最終選考会での厳正な審査の結果、各部門から計8件が選ばれました。

これらは「魅力的な都市景観の創造に貢献する」という観点に加え、場所性を意識したデザインや周辺環境への細やかな配慮、景観の一部としてあるべき新しい提案、街づくりへの熱意ある取り組みなどが高く評価されたものです。

また、惜しくも選考から漏れた物件についても、広島街づくりに十分に貢献するものであったことをあわせて報告いたします。

今後、これらの一つひとつが、それぞれの地域で街づくりの核となり、広島街が、ますます魅力あるものとなることを願っております。

選考委員

委員長	水田 一征 (広島工業大学環境学部教授)
委員	池本よ志子 (爽やかネットワーク㈱代表取締役社長)
	上田 美穂 (市民公募)
	上元新一郎 (市民公募)
	佐藤 深雪 (広島市立大学国際学部教授)
	谷川 圭子 (ヒロシマフラワーカレッジ主宰)
	中越 信和 (広島大学総合科学部教授)
	中嶋 健明 (広島市立大学芸術学部教授)
	灰山 彰好 (広島女学院大学生生活科学部教授)
	細見 恵 (㈲アトリエ・トライアウト代表取締役)
	山本 胖 (㈲カーサ商業建築研究所代表取締役)
	吉田 幸弘 (広島市立大学芸術学部助教授)
	高村 義晴 (広島市都市計画局長)

募集期間

平成12年7月1日(土)から8月10日(木)まで



応募状況

応募数109件

① 建築物・工作物部門	48件
② 緑化部門	20件
③ 街並み部門	11件
④ サイン・アート部門	22件
⑤ まちづくり活動部門	8件



選考過程

- (1) 写真選考 平成12年10月 4日(水)
- (2) 現地視察 平成12年10月23日(月)
- (3) 最終選考 平成12年11月13日(月)

表彰式

平成13年2月9日(金)午後2時30分 (於：広島国際会議場)